



令和 8 年 6 月

幕張東小学校図書室

図 書 だ よ り

本の森からこんにちは



千葉開府 900 年



千の葉に 時を刻んで 900年



大治 1126

令和 2026



れいわ ねん ちばし ひら ねん おお
令和8(2026)年、千葉市は、まちが開かれてから900年という大き
な節目を迎えます。

はじめ へいあんじだいこうき だいじがん ねん がつつい
始まりは平安時代後期にさかのぼります。大治元(1126)年の6月1
日に、桓武天皇のひ孫高望王の子孫、常重が、現在の緑区大椎 町 から
ちゅうおうくいはなふ きん ほんきょち うつ はじ ちば なの ちば
中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、ここに千葉
のまちとしての歴史が始まったとされています。(千葉市HPより)

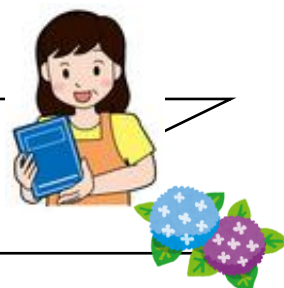
また、6月15日は、「千葉県民の日」です。「県民の日」は「県民が郷土
を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、ともに次代に誇りうる、よ
り豊かな千葉県を築くことを期する日」として、県の人口が500万人を
とっば きねん しょうわ ねん ねん せいいてい
突破したことを記念して、昭和59年(1873年)に制定されました。
(千葉市県民の日パンフレットより)

この節目の機会に、ぜひ千葉のことを調べてみましょう。

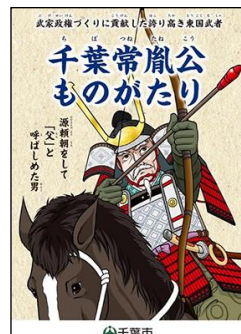
千葉にまつわる本は2類の棚にたくさんありますよ。



こんげつ おほん ちぼとくしゅう
今月の推し本 千葉特集



ちばつねたねこう 『千葉常胤公ものがたり』 ちばしせいさく さっし まんが こやまのり
千葉市制作 冊子 漫画：小山規
つねたね たいこう 「常胤の大功においては、生涯さらに報謝を尽くすべからざる（常胤の大きな功績には、生涯をかけても報いきれない。）と源頼朝に言わせた千葉常胤のお話。



『ぼくのわたしのちばしじまん 4つのたからもの』

こまちだたまお：作

千葉市・千葉教育委員会：監修（千葉日报社）



ねえ、知ってる？ぼくやわたしがくらしている千葉市はとってもすてきな場所なんだ。ここには4つのたからものがあるんだよ。

★また、図書室では千葉市の4つのたからものクイズを開催中です。全問正解した人には、しおりのプレゼントもあります。チャレンジしてみてね。詳しくは田中先生まで。推し本を読んで、しおりをもらおう！



お願い



はるやす そうしょてんけん ほん
春休みに蔵書点検（本がきちんとあるか調べること）をしたところ、ゆくえふめい ほん
行方不明の本が、たくさんあって、びっくりしました。いえ ほんだな きょうしつ
家の本棚や教室の学級文庫などに図書室の本が混じっていませんか？今、見つからない本の題名とナンバーを図書室に貼り出しているので、みんなで探して、なんとか見つけたいと思います。見つけてくれた人には、プラスワンチケットのプレゼントもありますよ。さあ、みんなでがんばって1冊でも多く見つけ出しましょう！

